

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2013年1月

ISO/TC61(プラスチック)/SC12(熱硬化性材料)、分野の最近の動向

1. ISO/TC61/SC12の構成

ISO/TC61/SC12は、熱硬化性材料関係の規格の制定・改正等を担当する。幹事国は、日本で、日本プラスチック工業連盟が国際幹事を2004年より受諾している。議長も日本(末松征比古氏:天昇電気工業学株式会社)が受諾している。2012年のメンバーは、Pメンバー(投票権有す)が、19カ国、またOメンバー(オブザーバ)は、12カ国と昨年と同数となった。

表1のように四つのWG(作業グループ)が活動している。

WGのコンビナーは、WG1及びWG2は空席、WG5はエポキシ樹脂技術協会の事務局長、栗田邦夫氏、WG6はDr.Thomas.Conti(ANSI;USA)が務めている。

第61回ISO/TC61年次国際会議は、9月17日からスペインのバルセロナで開催され、同会議で審議する予定である国際規格の制定・改正状況をWG(作業グループ)別に、日本提案を主に記述する(規格の名称は簡略して示す。)

表1 TC61/SC12のWG

WG	コンビナー	タイトル
WG 1	空席	熱硬化性樹脂成形材料
WG 2	空席	フェノール樹脂
WG 5	日本	エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂
WG 6	USA	ウレタン原料

3. ISO/TC61/SC12の審議事項

(1) WG1及びWG2

2012年度Systematic Reviewで6規格が見直し投票され、全て確認とされた。

また、昨年の国際会議で日本より予備提案した「フェノール樹脂中のホルムアルデヒドの微量量分析法」は会議への参加国が少なくエキスパート国5カ国が集まらず苦慮している。

(2) WG5(エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂)

a) ISO 3673-2(エポキシ樹脂)の改正

FDIS投票の結果、100%賛成で承認され発行された。

b) ISO 14322(エポキシ樹脂硬化度/DSC)制定

日本提案で制定を目指していたが、FDIS投票用原案を提出したもののFDIS投票を経ずに発行された。

c) 2012年度Systematic Reviewで5規格が見直し投票され、ISO 4895(液体エポキシ樹脂の結晶化傾向の測定)は日本より改正提案があり、審議の結果、高橋氏をプロジェクトリーダーとしてDIS段階より改正することが決定された。また、ISO 21048(エポキシ樹脂の1.2グリコール含有量の定量)も日本より改正提案があり、審議の結果、平井氏をプロジェクトリーダーとしてDIS段階より改正することが決定された。他の3規格は確認とされた。

(3) WG6(ポリウレタン原料)

a) 昨年のSystematic Reviewで改正することになっていたISO 25761(ポリオールN2%表示アシ価)の改正原案が審議され、DIS段階より開始することが決定された。

- b) 2012 年度 Systematic Review で 3 規格が投票となり、**ISO15028** (ポリウレタン用芳香性イソシアネート) について日本より改正提案があり、審議の結果、山崎氏をプロジェクトリーダーとして DIS 段階より改正することが決定された。他の 2 規格については確認とされた。
- c) 昨年廃止提案された **ISO/TR9372**(TDI 異性体)が廃止された。

長年 WG5 のコンベナーを務められたエポキシ樹脂技術協会の栗田邦夫氏が本年末退任されることから、後任として高橋泰氏が WG5 のコンベナーに就任することが承認された。

以上